

# おさじ



誰に相談したら  
いいですか？

どうしたら  
介護サービスが  
受けられますか？

2017年10月 町田市介護予防月間

## 鍋島所長が行く「出張介護相談」

具体的な相談事例を交えて、おはな介護相談所の鍋島所長がお答えします。

母は外出しなくなり2年。足腰の衰えにより近所付き合いが減っています。本人は「私は大丈夫！」の一点張りですが、次第に忘れっぽくなってきて、心配です。鍋島さん、どうしたらいいでしょうか。



心身の衰えは徐々に生活変化をもたらすので、気が付いたら何年も経っていたというケースは多いですね。まずは、下記のポイントをおさえておきましょう。

- ① 介護保険サービスには、介護となることを予防するためのサービスがある。
- ② 利用するためには介護認定を受けることが必要。
- ③ 市役所の介護保険課や地域にある高齢者支援センターや居宅介護支援事業所等に相談する。



今回の件は、食事・排泄介助等は必要としていませんが、足腰の衰えによる転倒や認知症予防のために介護保険サービスを活用しました。

- ① 転倒の不安を解消し外出しやすくする ⇒ 歩行器のレンタル
- ② 足腰の衰えを防ぎ閉じこもりを解消する ⇒ 運動のためデイサービスに通う

サービス開始から1ヶ月後…

閉じこもりだった母は、今では定期的にデイサービスへ通っています。足腰の運動によって以前よりも歩行が安定しました。また「知り合いができて生活に楽しみができた」と喜んでいます。そんな母を見て、私もホッとしました。



早めに相談することが少しでも衰えを防ぐことに繋がりましたし、何よりも安心して日々を過ごしたいですよね。



まずは相談の一歩を。お気軽にお問い合わせください。

☎ 042-737-5020 薬師台おはな介護相談所 鍋島・赤井まで

# おさじの広場

## まちにわプロジェクト 夏の収穫

きゅうり・ミニトマト・バジル・大葉・ゴーヤ・ハーブ類（ミント・ローズマリーなど）すでに大豊作！果樹・野菜を摘んで楽しむ「食べる森」



が、あっと言う間に成長しました。これからの季節にも、柿・栗・みかんと「食べる森」から目が離せません！

今回は敢えて、まちにわの一部分だけを紹介させて頂きました。是非一度、薬師台メディカルテラスに足を運び、まちにわ全体を見て、触れて、食べてみて下さい。



## 赤い屋根のお豆腐を販売しています！

「赤い屋根」は、障がい者の就労支援施設です。「～とうふは野菜だ～」をテーマに、こだわりの豆腐を作っています。大量生産・大量消費・低価格化によって、凝固剤がふんだんに使われるようになり、さらには後継者不足から街のお豆腐屋さんが減り、大豆本来の味を感じることが少なくなりました。

2006年、障害をもつ仲間たちが、ミヤギシロメ大豆と天然にがりをつかった、手づくり豆腐に挑戦しました。こだわりの国産大豆で凝固剤を極力つかわずに天然にがりで寄せた、昔ながらの大豆腐本来のコクと甘みの味わいを、地域にお届けしたい。彼らの豆腐には、社会とつながる幸せがギュッと詰まっています。施設での訪問販売を中心に、店舗営業や一般家庭への配達もしています。



### 販売情報：

● 毎週月曜日 11:30～12:30、薬師台メディカル TERRACE 駐輪場前

● 每月不定期、旭町の松林クリニック前 ※ お問い合わせください。☎ 042-736-6020

## まちたからフェスタ

町田市芹が谷公園にて「まちたからフェスタ」という音楽祭が開催されます。世界的指揮者“西本智実氏”と発達障害を患いながらピアニストとして活躍している“野田あすか氏”が出演される野外コンサートが行われます。

泰大会は、医療救護班として参加します。当日々救護のみならず、お子様に実際の白衣を着てもらい聴診器で音を聞いてもらう「お医者さん体験」コーナー、認知症の予防に良いとされる「アロマオイルハンドマッサージ」コーナー、国家資格所有者による「マッサージ体験」コーナーを出展します。5,000名が集まる一大イベントに地域の代表として参加します。皆様是非お越しください！

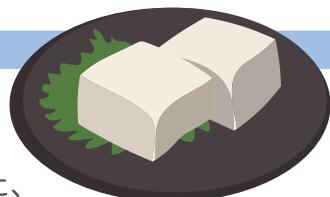


場所：芹が谷公園 東京都町田市原町田 5-1 6

日時：平成 29 年 10 月 15 日（日）

時間：11 時 00 分～18 時 15 分まで

演奏のみならず、飲食ブース、体験ブース合わせて 30 のブースが出展予定、雨天決行（荒天の場合は演奏のみ玉川大学で行います）



陽だまりマッサージでは、そんな障害のある仲間たちが長く働き続けられるための、身体のケアをしています。さらに、施術中には、普段なかなか言えない悩み事などにも耳を傾けています。そんなご縁から、豆腐の販売をしていただくことになりました。

# Osaji Face ~旬なスタッフをご紹介~

第1回：訪問診療で地域を支える、薬師台おはなぽっぽクリニック 野口泰芳 院長にインタビューしました。

## —— ドクターを目指すキッカケは？

幼少時は「動物園の園長」が夢で、高校生のころは建築士や美容師を考えた時期もありました（笑）が、最終的に命に係る仕事で人の役に立ちたいという気持ちから医師となりました。大学卒業後はあえて厳しい研修病院に入りました。当時は不眠不休で働き、ほとんど全ての診療科を学びました。研修が終わって、「目の前で倒れた人を救え、命に対して責任が持てるのは手術に精通した外科医だろう」と外科医に決めました。



## —— 今は何科ですか。

科を問わない「総合診療医」です。高齢者の多くは内科や整形疾患など慢性的な悩みをお持ちで、「外科が専門で内科や整形は診られない」とお断りするのは医師側の理屈であり、私にとって「総合的に患者さんを診る」のは当然のこと、と考えています。また、外科医として勤務する傍らで整形外科の研修を続けたり、開業医の診療を学んだりするうちに「総合診療医」としてのやりがいや自信もつきました。

## —— 町田で開業した理由は？

高齢化社会のニーズである「医療介護の連携」が必要な地域であり、「総合医療施設」の開設が必要な場所と感じておりました。高齢の方でも入りやすいバリアフリー、CTなどを置くスペースも必要……と、中々良い場所が見つかりませんでしたが、数年かけてこの薬師台という場所をみつけ、2015年3月に医療モールを開業しました。開業後は忙しいながらも地域住民の皆様と信頼関係を築き、貢献していく実感を持っています。

## —— 趣味

幼少時から続けている音楽ですね。音楽では様々な楽器でジャンルを問わず演奏しています。なかなか活動する時間を作れないのですが、月1回開催している「認知症カフェ」で医療モールの仲間と演奏しています。職種の垣根を越えた仲間たちと共に、地域の皆様との交流ができるのが楽しいですよ。



## —— 今後の展望は？

患者さまとご家族の生活を大切に考えて、安心できる地域にしていきたいです。患者さまが来院できなくなったら、「訪問診療」を提案して私たちが足を運べるクリニックで在り続けたいです。外来と訪問診療の両立は、職員の理解と協力がないと成り立ちません。職員も地域に欠かせない存在となり、より良い医療従事者に育って欲しいと願っています。

おさじ創刊1周年を記念して  
**編集委員のご紹介**

編集長の木村です。今回は、日々おさじの紙面作りを支えている編集委

員を紹介します。それぞれが、泰大会グループの各院から選ばれた精鋭(?)スタッフ。毎日の業務の合間に縫って集まり、わいわいにぎやかにやっております。泰大会のモットーである「親切と目配り・気配り」をテーマに、今後とも患者の皆様に愛される広報誌を目指してまいります。各院でこちらの美男美女(!)を見かけたときは、紙面のご感想等、忌憚のないご意見を頂けましたら幸いです。



**メディカル  
なぞなぞであそぼ！**



③シンボルとも言える臓器って、な～んだ？

①看護師さんの好きな食べ物って、な～んだ？ ④体重は変わらないのに夜に重くなるのって、な～んだ？

②飲むと少し笑ってしまうものって、な～んだ？ ⑤大変な時ほど笑う体の一部って、な～んだ？

答えは、お近くのスタッフまで！



薬師台メディカル TERRACE

薬師台 1-25-12

C T・内視鏡などの検査・日帰り手術に訪問診療  
内科・整形外科・外科・精神科・循環器内科

薬師台おはなぽっぽクリニック  
☎ 042-737-7373

心身の健康を支えることでみんなを Happy に！

薬師台おはな接骨院&鍼灸マッサージ院  
ホグレルフィットネス  
☎ 042-737-7375

独りよりみんなで明るく楽しい老後を

薬師台おはな介護相談所・  
薬師台デイサービスおはな  
☎ 042-737-5020

町田で  
7施設  
展開中

中町地区

中町 1-26-17

開業29年、この町とともに



近藤整形外科

☎ 042-724-3255

中町 1-10-15

在宅療養を支援するマッサージ・機能訓練



陽だまり 鍼灸マッサージ院

☎ 042-794-7592

旭町地区

旭町 1-4-1

何科にかかればいいの？そんな時は…



内科・整形外科・外科・皮膚科

松林クリニック

☎ 042-732-5777

あなたの治療をオーダーメイドします



とりの木接骨院

☎ 042-732-6620

♥この度は、本誌を手に取っていただきありがとうございます。「おさじ」は、江戸時代の大奥などで医師を示す言葉だったそうです。体に栄養を運ぶ「おさじ（スプーン）」のように、皆様の健康に役立つ情報をお届けして参ります。

次号も、どうぞお楽しみに！

